

『特別養護老人ホーム たぶのき』

『グループホーム たぶのき』



「特別養護老人ホーム たぶのき」「グループホーム たぶのき」とは  
「高齢者が住み慣れた地域で安心して、生きがいを持って活動的に暮らす事を地域全体  
で支援する」という目標におけ、ユニット型指定介護老人福祉施設とグループホームと  
の複合施設です。

全室個室のユニット型施設とユニットケア方式を採用することで、ゆとりのある生活、  
落ち着きのある我が家にいるような安心感を最優先しました。

## 「たぶのき」では

### 【たぶのき 理念】

- ・「普通の暮らし」「当たり前の生活」の追求と実現
- ・「人権を守る」

起床 食事 入浴 余暇 就寝・・・ これらの日課に規則がありません。  
住み慣れた地域の中で、これまでのご自宅での生活に近付けるような支援をします。

### 【住まい】

建物の1階と2階に、特養30部屋とグループホームの9部屋、合計39部屋をご用意しました。  
全室完全個室制度を採用しています。

お部屋には、使い慣れた家具、思い出のお品、家電製品などご自由にお持ち下さい。



ユニット玄関



### 【お食事】

食事は、各ユニットのキッチンで準備し（時には、料理を手伝っていただく事も）、そのまま職員も一緒にリビングでいただきます。

また、好みの物をメニューに取り入れたり、希望を聴いて外食支援も行っています。

### 【入浴】

出来る限り、これまでの暮らしでの入浴と変わらない環境を目指し、各ユニットに個人浴槽を用意しました。好みの湯加減で、お一人ずつゆったりと湯船におつかりください。



### 【支援体制】

4つのユニット（生活単位）に対応して、職員もユニット毎に担当します。  
顔馴染みのスタッフによるキメ細やかなサービスで、サポートします。

## 【施設での生活】

個々人の出来る事、できない事、手伝えれば出来る事、したい事、したかった事などを把握して支援を行います。

また、外出や地域行事にも積極的に参加をしています。



## ※施設の概要※



大滝外科胃腸科病院（現：大滝クリニック）の療養型病床（30床）をユニット型特別養護老人施設に転換しました。

地域密着認知症対応型共同生活介護（グループホーム）9床を併設し、合計4ユニット39床の施設です。

## ※「たぶのき」の名前の由来(物語)※



福井市指定天然記念物「町屋のタフノキ（樹齢は推定約400年）」の種から育った若木を施設の敷地に植樹しました。

長年にわたり住民に親しまれた町屋のタフノキでしたが、土地所有者の土地売却のため、惜しまれながらも伐採する事になりました。

ところが直ぐに、このタフノキから落ちた種が自生し若木に育っていた事から、

「先代と同様、当施設も末永く地域住民の方に親しまれるように…」という願いを込め、施設名を「たぶのき」とし、開設時、施設の庭と建物の裏の2箇所に植樹しました。

地区のシンボルの継承が出来るよう、職員一同より良いケアを行っていく事を心に決めた瞬間でした。

